

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	単位老人クラブ補助事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	藤白宮奈子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	社会奉仕や趣味、教養、各種スポーツやレクリエーションなどの活動を通して高齢者の交流と社会参加の場を増やす。						
事業の概要	単位老人クラブの活動費補助金として、さくら市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき1クラブ43,200円を助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,340		1,296		1,340	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	単位老人クラブ会員数	人	855	808	808	808
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	年齢層の高い高齢者の集まりであり、老人クラブ数、会員数ともに減少傾向の一途であることは防げない。自主運営や事業の支援を市が行うことで会員数を増やせるように、団体育成等の取り組みを実施していく。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	氏家福祉センター運営事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	君島成美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	高齢者等への健康増進、教養の向上や各種相談等を通し、明るい生活の営みに貢献する。						
事業の概要	高齢者および身体障がい者福祉の増進、社会参加を促進するためにセンターを設置、運営する。（指定管理者：さくら市社会福祉協議会）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,734		4,851		5,189	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	年間利用者数（延べ）	人	8,738	9,719	9,719	9,719
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	多くの高齢者等が健康増進、憩いの場として利用しており、十分に成果が出ている。趣味の講座等の実施により利用者が減らないような工夫をして施設の運営を図っている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	さくら市いきいきクラブ連合会事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	君島成美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	単位老人クラブの連携の強化を図り、より活力あるものにする。						
事業の概要	各単位老人クラブの連合会である「いきいきクラブ連合会」へ、さくら市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき、活動費補助金として417,000円を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	512		2,357		2,410	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	年間延べ連携事業数	回	37	38	39	39
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	単位老人クラブといきいきクラブ連合会とで連携し事業を行うことが、その育成を図ることにつながっており、高齢者の生きがい活動の実施団体としての役割が果たしている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	生きがいセンター運営事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	君島成美			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	高齢者が生きがいセンターを教養、創造活動の場として利用することにより、健康を維持し生きがいを持ってもらう。						
事業の概要	高齢者福祉の増進、社会参加を促進するためにセンターを設置、運営する。 （指定管理者：さくら市社会福祉協議会）						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	515		515		518	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	年間利用者数（延べ）	人	3,078	3,198	3,198	3,198
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	多くの高齢者が憩いの場として利用しており充分に成果が出ている。趣味の講座等の実施により利用者が減らないような工夫をして施設の運営を図っている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	シルバー人材センター補助事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	君島成美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	シルバー人材センターを利用した高齢者の臨時的、短期的な就業機会を確保し、社会参加による生きがいの充実を図る。						
事業の概要	シルバー人材センターの適正な運営と事業促進を目的として、さくら市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき運営費補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9,600		9,600		9,600	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	シルバー人材センター就業延べ人数	人	28,026	27,978	27,978	27,978
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市がシルバー人材センターを支援することにより、高齢者の自立を支援し、高齢者が生きがいを持って働くことができる場の提供ができています。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	温泉券発行事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	藤白宮奈子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	高齢者等に温泉券を配布することにより、健康の維持と生きがいの高揚を図る。						
事業の概要	市内に住所を有する、その年度内に満65歳に到達する者を含む65歳以上の高齢者等に温泉入浴利用証を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	335		340		40,636	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	支給件数	人	5,096	5,177	5,200	5,200
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業のPRは市広報や行政区回覧により充分に行っており、希望者や必要な方への交付はすべて行われている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	敬老会事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 喜連川支所市民生			担当者	宇田 泰男		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	01	高齢者の社会参加の推進				
事業の目的	長年にわたり社会に貢献してきた高齢者に敬意を表することにより、生きがい・励みを持ってもらう。						
事業の概要	長寿を祝う行事を各行政区単位で行った場合に奨励金を交付する。75歳以上の方に市から記念品を贈呈する。100歳の方・最高齢者等について市長が表敬訪問を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	11,387		11,700		12,355	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	敬老会記念品贈呈者数	人	5,331	5,524	5,600	5,600
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	長年社会の発展に尽くされた高齢者の方々の長寿を祝う行事を実施している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	介護予防普及啓発事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	柳田 里子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	ゆめ！さくら博へ「健康まつり」のブースとして出店し、健康づくりのための様々な取り組みを広く市民に知ってもらい、市民の健康、特に介護予防に対する意識の高揚を図る。						
事業の概要	健康まつりで配布するパンフレット、うちわ等の購入費用。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	129		126		297	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	パンフレット配布数	部	250	250	250	250
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	健康まつりにおいてパンフレット等を配布することで、市民に対し介護予防に関する普及啓発が図れた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	二次予防対象者把握事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	柳田 里子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	要支援・要介護状態に陥るリスクが高い高齢者を早期に発見し、介護予防事業への参加を促し、要介護状態になることを予防する。						
事業の概要	高齢者の一部に対し、チェックリストを郵送にて配布・回収。把握した二次予防対象者に対し地域包括支援センターと連携し必要に応じ介護予防事業への参加を促す。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	729		696		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	基本チェックリスト送付人数	人	2,376	2,076	0	
	成果	二次予防対象者数	人	389	242	0	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	回答数1,354件。242名の二次予防対象者を把握できた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	通所型介護予防事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	柳田 里子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	運動・口腔・栄養機能の向上が図られ、要介護状態とならないようにする。						
事業の概要	元気向上教室を開催し、要介護になる恐れのある高齢者を対象に、運動・口腔・栄養機能低下を予防する。また、閉じこもり・認知症・うつ予防にも努める。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,663		2,425		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	元気向上教室参加者数（延べ）	人	502	399	0	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	前年度と比較すると延べ100名程度参加者の減少がみられた。参加者に対し介護予防プログラムを実施し介護予防の普及を図れた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	楽らく水中運動教室事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課			担当者	柳田 里子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	運動機能の向上を図り、要介護状態とならないようにする。						
事業の概要	二次予防対象者に市内のスポーツクラブのプールを利用して①健康チェック、②体力測定、③ストレッチ、④水中歩行、⑤水中運動等を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,409		1,273		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	楽らく水中運動教室参加者数	人	106	77	0	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	前年度と比較して延べ29名の参加者の減少がみられた。参加者に対しプールを利用した介護予防プログラムを提供することができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小			業務量	○拡大 ○現状 ●縮小	

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	水中ゆうゆうウォーキング事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課			担当者	柳田 里子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	運動機能の向上を図り、要介護状態とならないようにする。						
事業の概要	高齢者を対象に、プールにてストレッチ・水中ウォーキングを中心とした水中運動を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,155		1,153		1,172	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	水中ゆうゆうウォーキング参加者数（延べ）	人	233	207	300	300
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	参加者において、前年度と比較して僅かに減少がみられた。参加者に対しプールを利用した介護予防プログラムを提供できた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	はつらつ元気塾事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	柳田 里子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	運動・口腔・栄養機能の向上を図り、要介護状態とならないようにする。						
事業の概要	氏家、喜連川地区それぞれにおいて、体力測定・筋力アップ体操・口腔体操等を実施し、介護予防を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	992		1,405		2,154	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	はつらつ元気塾参加者数（延べ）	人	703	838	1000	1000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	前年度より参加者の増加がみられた。参加者の身体機能の向上が図れた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	いきいき介護予防（継続）教室事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	柳田 里子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	運動・口腔・栄養機能の低下を防ぎ、要介護状態とならないようにする。						
事業の概要	事業実施行政区を選定し選定地区の自治公民館等にて実施。身近な場所で運動機能の向上・低栄養の予防・口腔衛生等について学び、地域ぐるみで介護予防を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	921		727		436	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	いきいき介護予防教室参加者数 (延べ)	人	322	216	150	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	参加のべ人数において前年度より大幅に減少がみられた。平成27年度は新規地区と継続地区とで全4か所を実施したが、平成28年度は新規地区が1ヶ所であり継続2地区、新規1地区の全3か所での実施であったため参加のべ人数において前年度より減少となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	高齢者教室事業（地区老人クラブ）			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	柳田 里子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	高齢者への介護予防意識の高揚を図る。						
事業の概要	運動機能の向上・低栄養の予防・口腔衛生等について学びたい旨の申請があった老人クラブ等に専門職を派遣する事業。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	15		15		265	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	参加者数	人	516	520	520	520
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	前年度より多くの団体からの派遣申請がなされ、より多くの高齢者に対し介護予防に関して普及することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	栄養相談会事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	柳田 里子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	栄養を中心とした食生活に対する指導を実施し、栄養面での不安を解消させる。						
事業の概要	65歳以上で主治医からの紹介者及び基本健診受診者で栄養に関し要フォローとなった方を対象に食生活についての相談に応じ、生活習慣病の予防を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	74		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	65歳以上の栄養相談会参加者数	人	9	0	0	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	他の施策で同様の事業を実施したため、事業実績はなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	結果相談会事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	柳田 里子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	02	介護予防対策の充実				
事業の目的	栄養・口腔に関する指導を行い、健康管理面での不安を解消する。						
事業の概要	総合健診結果相談会時に栄養・口腔等に関する相談に応じ、健康的な生活が送れるよう支援する。本事業の対象は65歳以上の結果相談者。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	129		381		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	65歳以上の結果相談会参加者数	人	9	15	0	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	健康増進課における相談事業において、対象者へ健康管理に関する取り組み方について普及することができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	趣旨普及事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課			担当者	齋藤 恒夫		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	介護保険対象者にサービスの利用方法・種別・手続き・費用・納付額などを周知する。						
事業の概要	介護保険制度周知用パンフレット及び介護保険料納付書送付時啓発パンフレットの作成。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	492		1,049		455	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	パンフレット等作成数	部	3,200	5,200	5,200	5,200
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	介護保険に関するパンフレットの配布や、イベント等で物忘れ簡易検査機器を活用することにより介護保険制度等に関し市民への普及啓発を図ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	計画策定事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	齋藤 恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	計画を3年毎に策定し、介護給付見込み及び社会情勢等を反映させた保険料の設定をすることにより、適正なサービスの供給を図る。						
事業の概要	3年間を計画期間とする高齢者福祉計画と介護保険事業計画を一体的に策定し、計画期間3か年における保険料の額や高齢者施策等についての指針を定める。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		2,085		4,273	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	作成委員会、幹事会開催件数	回	0	0	4	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市内で暮らす一般高齢者2,200名に対し調査を実施した。回答数1,793件。回収率81.5%。一般高齢者の生活状況等について把握することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	介護施設公募事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	齋藤 恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	さくら市高齢者総合保健福祉計画に基づき、老人保健福祉施設を整備する法人を公平に選定する。						
事業の概要	老人保健福祉施設を整備する法人を選定するために法人審査委員会を開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		28		83	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	法人審査委員会開催回数	回	0	1	1	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	法人審査委員会を1回開催し、整備法人を選定した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	在宅サービス利用者が引き続き自宅で安定した生活ができるよう、ケアマネジャー同士が情報の共有と連携の強化を図る。						
事業の概要	ケアマネジャー連絡協議会を開催し、在宅サービスに係わりのある職種が協力し、様々なケースの問題解決に向けて検討するとともに関係職種の連携の強化を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	60		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	ケアマネジャー連絡協議会開催回数	回	4	4	4	4
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ケアマネジャー連絡協議会を4回開催し、情報の共有と連携の強化を図ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	地域包括支援センター運営事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	井上拓俊			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活が維持できるように、介護サービスや相談が受けられる。						
事業の概要	高齢者支援のための、総合相談、関係者とのネットワーク構築、高齢者の心身や生活状況の実態把握等を行い、適切な保健、医療、福祉等のサービス利用につなげる活動を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	27,062		29,604		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	総合相談件数	件	1,477	1,387	1,387	1,387
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	総合相談件数は概ね前年度と同数程度であり、適切な高齢者支援に結びついている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業費			事業開始年度	平成27年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	齋藤 恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	身近な地域に介護サービス基盤を計画的に整備することで、サービスの充実を図る。						
事業の概要	市内に地域密着型特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護事業所を整備する法人を公募で募り、整備法人に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	116,000		1,258		52,800	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	施設整備率	%	100	0	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	公募により選定された法人が地域密着型特別養護老人ホームの整備工事に着手したが、竣工が遅れたため予算（補助金）を平成29年度に繰り越した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	住宅改修支援事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	齋藤 恒夫			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	ケアマネジャーとの契約をしていない要介護・要支援認定者の住宅改修サービスの利用を円滑にする。						
事業の概要	担当介護支援専門員との契約がない介護認定者が住宅改修を行う場合に、改修費の給付を受けるために必要な支給申請に係る理由書等を作成した者に対して補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4		0		20	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	当該事業を利用し、住宅改修を行った人数	人	2	0	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	平成28年度においては事業利用者なし。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	家族介護者教室事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	介護者の家族への負担軽減を図る。						
事業の概要	介護者家族の負担を軽減するための講演会や介護者家族同士の話し合いの場を設ける。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	74		92		153	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	家族介護者教室参加者数	人	37	48	48	50
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	認知症についての理解を深めるための講演会を開催することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	認知症サポーター養成事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	高根 幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	03	介護サービス体制の整備				
事業の目的	認知症への理解促進を図ることで、認知症を患った方への適切な対応能力を身につける。						
事業の概要	全国キャラバン・メイト連絡協議会にて養成されたキャラバンメイトが、認知症に関する学習会（認知症サポーター養成講座）を開催し、地域の認知症サポーターを育成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	61		74		99	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	認知症サポーター数（延べ人数）	人	1,797	2,317	2,400	2,500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	認知症サポーター数を大幅に増やすことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	低所得者利用者負担対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	池田 知美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	低所得者に対し、サービス利用時の負担軽減を図る。						
事業の概要	社会福祉法人が生活困難者（低所得者）に対し、10%の利用者負担額、食費、居住費の軽減をした場合、その軽減分の一部を市が助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	45		45		80	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	利用者負担軽減者数	人	0	0	4	4
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	平成28年度においては利用者なし。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	声かけ収集事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民福祉部 環境課		担当者	長島正規			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	高齢者世帯や障害者世帯の家庭ごみを分別指導することにより、可燃ごみの減量化となり、併せて安否の確認が行える。						
事業の概要	ごみの収集は、各利用者のニーズに合わせ、週1回以上とする。収集職員は、収集職員のみで、1名体制。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,600		1,592		1,872	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		緊急連絡先への通報件数	件	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象世帯について、前年度中は、警察署又は消防署への緊急連絡はなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	在宅寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 喜連川支所市民生		担当者	宇田 泰男			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	対象者本人及び家族の紙おむつに要する費用の経済的負担を軽減し、高齢者等の福祉の向上と共に快適な日常生活を送れる状態とする。						
事業の概要	在宅・寝たきりで常時紙おむつが必要な方に、1カ月5,000円を限度とした紙おむつ給付券を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	12,627		12,186		10,572	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	紙おむつ給付券交付枚数（年度末）	枚	2,535	2,465	2,640	2,640
	成果	紙おむつ給付額（年度末）	千円	12,627	12,176	10,560	10,560
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者本人及び家族の紙おむつに要する費用の経済的負担を軽減する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	福祉タクシー事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 喜連川支所市民生			担当者	宇田 泰男		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	通院等で電車、バス等の交通機関を利用することが困難な高齢者等の交通の便の確保と一部経費を助成することにより、福祉の増進と快適な社会生活を送れるようにする。						
事業の概要	通院時介護が必要な65歳以上のみ世帯の方、重度障がい者の方にタクシー料金の基本料金を助成するタクシー利用券を年間48枚交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,726		6,749		6,728	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	福祉タクシー券交付枚数（年度末）	枚	9,126	9,162	9,126	9,126
	成果	福祉タクシー助成額（年度末）	千円	6,662	6,689	6,662	6,662
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	通院等による対象者本人の交通手段の確保と費用の経済的負担を軽減する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	高齢者等在宅サービス総合事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	市民福祉部 喜連川支所市民生		担当者	宇田 泰男			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	04	在宅福祉サービスの充実				
事業の目的	安全で安心な生活の確保と継続的な在宅生活が送れるようにする。						
事業の概要	各種在宅サービス（緊急通報装置貸与、給食サービス、生活支援サービス、住宅用火災警報器等購入助成、家族介護慰労金等）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,186		5,001		7,559	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	緊急通報装置貸与事業決算額	千円	3,782	3,742	4,659	4,659
	成果	給食サービス事業決算額	千円	1,146	986	1,554	1,554
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	高齢者のみ世帯の方や重度障がい者が在宅で自立した日常生活を営む。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	敬老祝い金給付事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 保険高齢課		担当者	藤白宮奈子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	02	生きがいをもたらす高齢者福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	長寿者に祝い金を支給することにより、長寿を祝福するとともに市民の敬老意識の高揚を図る。						
事業の概要	満88歳、満100歳の方を対象とし、年齢に応じた敬老祝い金を給付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,051		7,615		8,505	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	支給件数	件	176	235	260	260
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	長寿を祝福し祝い金を給付することで、節目の年を当面の目標として生きがいを持ち過ごすことができるため、成果はでている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		